



令和2年度は新規採用看護職員70名を迎えました！

感染対策のため、辞令交付式は代表者1名のみが受け取るという異例の形式で行われる中、新人の皆さんの表情には、緊張の中にも希望、期待、不安など様々な思いが満ちあふれていました。そんな交付式から早くも3ヶ月が経ち、フレンズルームでの新人の皆さんのお話からは、各部署で奮起しながら頑張っていることがひしひしと伝わってきます。センターでは皆さんが体も心も元氣よく看護師として仕事を続けていけるよう支援したいと思っています。



新人バッジ

フレンズインタビュー ラッキーライラック

今回のラッキーライラックは、北8階病棟 副看護師長 宮下こずえ さん です！

宮下さんは、子育てに奮闘しながら、仕事では副看護師長としてインジェクショントレーナーとして院内の静脈注射研修等で指導者として活躍されています。そんな宮下さんに、インジェクショントレーナー研修での学びや今後の目標について伺いました。



★研修受講の動機は？

上司の勧めもありましたが、静脈注射に関する教育スキルを向上させることが目的で受講しました。

★研修ではどのようなことを学びましたか？

静脈注射の科学的、安全学的根拠に基づいた指導について講義を受け、演習では学習者の主体的かつ効果的な学びを促す教育技法を体験しました。研修を企画する際には、受講者が興味を惹かれ自信や満足感を得られるよう、ARCSモデルの視点で考えることが有効であると学びました。

★指導者として心がけていることはありますか？

対象のレベルに応じて説明内容を工夫しています。インジェクショントレーナー研修を受けて、受講者の自信や満足感が得られるような研修となるには自分の関わり方の工夫が必要であることを実感したので、常に受講者の視点で物事を考えることができるように今後も心がけていきたいです。

★今後の目標や取り組みたいことはありますか？

経験の浅いスタッフには看護師という職業に魅力が持てるような関わりや指導を、ベテランのスタッフには今持っている自分の力について実感し更なる自信へとつながるような関りをしていきたいと思っています。



育児と仕事の両立で忙しい日々を送りながらも、とても明るく生き活きとご活躍されている宮下さんでした！

看護キャリア支援センターよりご挨拶



センター長の工藤美幸です。本年4月1日に看護部長に就任し、あわせてセンター長を拝命しました。COVID-19のため、職員の交流の機会も少なくなっていることでしょうか。しかし、皆さんは独りではありません。我々センター員は皆さんを支える準備はできています。困ったときはいつでも相談してください。このフレンズ通信も皆さんの情報共有の一助になると嬉しいです。

副センター長の今野美紀です。本年4月より看護キャリア支援センター副センター長・看護学科長を拝命いたしました。新型コロナウイルス感染症流行により、皆様におかれましては心身の負担が増し、自身が学ぶこと、キャリアを開発すること、ワークライフバランスを保つことが容易ではないと察しております。少しでも皆様の学びに貢献できるよう、尽力致します。そして看護学生のキャリア開発にお力添え頂きますよう、よろしく申し上げます。



副センター長の梅田聖子です。開設2年目からセンター事業に関わり、院内研修の企画や臨床看護教育者育成研修の開始、地域の看護職の皆様への研修の公開などを進めてきました。今年度は、COVID-19対策なども検討が必要になっております。皆様からの御協力をいただきながら、円滑な事業の推進を目指してまいります。

看護師長の叶野のみ子です。本年4月から看護師長を拝命いたしました。事業の多さに戸惑っておりますが、皆様からご協力いただきながら、粛々と事業を推進してまいります。皆様から頼りにされ、また支えられるセンターを目指し、小さなことからコツコツと活動していきます。



より進歩した教育を目指して・・・

今年はフローレンス・ナイチンゲール生誕200年のメモリアルイヤーです。ナイチンゲールは看護教育制度の確立を目指し、1860年に世界初の看護学校を設立しました。当時の座学と演習を組み込んだカリキュラムは、今日の看護教育の根幹となり引き継がれています。「進歩し続けない限りは退化していることになるのです。目的を高く掲げなさい。」というナイチンゲールの名言があります。センターで取り組んでいる研修企画も、受講する皆さんにとって最良の方法や内容を模索しながら常に進歩していきたいと考えています。ご意見などありましたらぜひお聞かせください！

専任センター員

札幌医科大学附属病院
看護キャリア支援センター
TEL 011-611-2111 内線：23190
Mail career@sapmed.ac.jp
URL <http://web.sapmed.ac.jp/career>

